

働きやすく地域と共生

SDGs推進11社 多様な施策

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた企業の取り組みを発表するコンテストが21日、浜松市中央区のアクトシティ浜松であり、製造業や建築業など県西部地域に拠点を置く11の企業・団体の代表者が地域貢献や環境保全、女性活躍といった多様な施策を紹介した。

（寺本康弘）



SDGsの取り組みを紹介する発表者＝浜松市中央区で

浜松いわた信金などコンテスト開催

浜松いわた信用金庫と東京海上日動火災保険の共催。両者はSDGsの活動に意欲的な企業を応援する「登録制度」を設けており、登録が100社に達したことを記念して企画した。取引先などに発表事例を参考にしてもらい、企業間の連携も促すことで、さらにSDGsの普及促進を図る。

LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）は、地元の自治会と防災訓練を実施したり、警察署と協力して防犯を呼びかけたりと、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる事例を紹介。消費者との接点が増え、本業の充実にもつながっていることを解説した。

10～80代の幅広い年代が勤務する機械部品製造のコーケン工業（磐田市）は、女性社員でつくるチームが職場を働きやすく改善してきた経緯を伝えた。

育休中の社員と会社とのつながりが

りが途絶えないように社内情報紙を発行したり、子どもの生活に合わせて労働時間を柔軟に変えられる仕組みを導入したりといった実績を説明。登壇した担当者は「今後も社員が幸せを感じる職場をつくりたい」と強調した。

着付け教室運営のななほう（湖西市）は、地元企業で働く外国人技能実習生が地域の祭りに参加する際、浴衣の着付けを手伝った事例を紹介した。日本の伝統文化に触れる機会に協力したことで、実習生と会社の関係が深まり、地域とのつながりも強まったという。起業支援に詳しく、コンテストの審査員を務めた光産業創成大学院大（浜松市中央区）の姜理恵准教授は「どの発表も素晴らしい。ぜひ全国に発信して活動を継続してほしい」とエールを送った。

コンテストでは、SDGs賞にエネジン、女性活躍推進賞に浜松倉庫（同）、グッドアピール賞にeZovインターナショナル（同）、審査員特別賞にななほう